

成果指標				
成果指標	利用者数			
指標設定の考え方	本事業は、利用者を対象とする支援事業であることから利用者の数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	5	5	5	5
実績	1	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	5	A
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	利用件数は少ないものの、今後子育て支援政策が進んでいく中で、ニーズが増えていくことが予想される。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	A
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子育て支援策として有効であるが、実態をしっかりと掴みながら利用者支援を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	